

支援者が「子ども虐待」を理解するための3連続講座

2024年①5月26日(日)、②7月21日(日)、③9月15日(日)の3日間にわたって、子ども虐待問題の理解のための3連続講座を開催します。虐待の原因、虐待する親の特性、虐待の見極め方、虐待を受けた心の傷とその回復のためのカウンセリング、親・子ども別の具体的な支援の方法などについて学びます。

Zoomによる**オンライン**と**会場**(東京・御茶ノ水)の**ハイブリッド方式**で実施します。

■オンライン：10時～15時30分、 ■会場：10時～18時

(参加の方法・参加資格・料金・申込方法は裏面をご覧ください)

■ 講師 高橋和巳 野口洋一

■ 講座1：5月26日(日) なぜ虐待が起こるのか？ 虐待する親の特性

子ども虐待はたまたま起こった事件ではありません。必ず原因があります。これを理解することが虐待問題を理解する出発点です。

- 1 母子間の**愛着形成**ができていない「普通
- 2 虐待が起こる原因は「**母性の欠如**」であり、母性とは親の「共感能力+養育能力」
- 3 厚生労働省の「子ども虐待による死亡事例報告書」・「子ども虐待対応の手引き」・「特定妊婦」の資料から虐待する親の特性を分析する

■ 講座2：7月21日(日) 「軽度」知的能力障害と児童虐待との関係

児童相談所や子ども家庭支援センターに通告・通報される虐待事件、それらの親の**80%**は共通してある「特性」を持っています。それを理解して虐待の理解を深めます。

- 1 発達障害の分類と知的能力障害、境界知能の理解
- 2 「軽度」知的能力障害と境界知能の心理・行動を理解する
- 3 親の「軽度」知的能力障害と児童虐待との関係―「虐待の世代間連鎖」のように見えるもの

■ 講座3：9月15日(日) 被虐待者「異邦人」の心の傷とその回復

被虐待者は「**愛着障害**」という重い心的外傷を負っています。傷は幼少時は**反応性愛着障害**、大人になってからは**反復性うつ病**や**解離性障害**として現れます。愛着障害の原因を自ら理解(自己受容)すれば、彼らは見事に回復します。

- 1 被虐待者「異邦人」の心理発達過程と愛着障害
- 2 被虐待者「異邦人」についての研究
- 3 被虐待者「異邦人」の精神疾患(愛着障害、解離性障害、反復性うつ病など)とその回復

※ HCM セミナー 2024 基本コースを受講中の皆さまへ

「講座2」と「講座3」は、HCM セミナー基本コースの第4回目、第5回目との合同開催です。

3連続講座を受講希望の方は講座1-「5月26日 なぜ虐待が起こるのか？」のみをお申し込みください。

主催



■ HCM 事務局 (コスモスバード・カウンセリング内) 担当：興津・弓手

〒101-0037 東京都千代田区神田西福田町 2-7 DPM 神田ビル 4F

tel 03-6811-6858 / e-mail : info@hcm-seminar.net



